

令和5年度 基本施策評価シート

作成日 令和5年7月19日

基本施策	G3	スポーツ・レクリエーションの振興を図ります	
2025年度にめざす姿	対象		意 図
	市民が		いつでも、どこでも、いつまでもスポーツ・レクリエーションに親しんでいる。
第五次総合計画[前期基本計画]基本施策掲載ページ			203ページ
基本施策主管課名	スポーツ振興課	関係課名	中央総合事務所地域整備1課、中央総合事務所地域整備2課、生涯学習施設課、健康教育課、健康づくり課

基本施策の総合評価

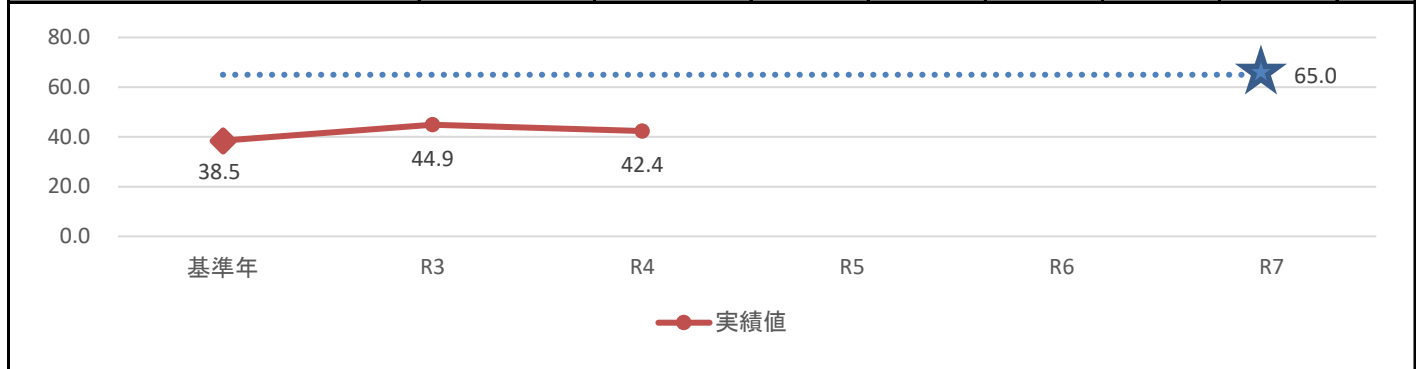
総括	<ul style="list-style-type: none"> ●V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームに市内の小中学生とその保護者を無料招待する「市民応援DAY」を継続して実施することで、2025年度(令和7年度)の目標値(2,717件)を上回る5,144件の応募があり、スポーツへの関心を高めるきっかけづくりと両クラブに対する市民の応援機運の醸成を図ることができた。 ●運動・スポーツ実施率は基準値を下回っているものの、長崎ベイサイドマラソンや新たに小学生以下の子どもを対象としたスポーツ体験教室など各種スポーツイベントを開催し、11,062人の市民の参加があり、各競技団体等と連携したスポーツ・レクリエーションをする場の提供を行うことができた。 ●市営スポーツ施設の利用者数は基準値を下回っているものの、西浦上中学校運動場の夜間照明設備のLED化など、適切なスポーツ施設の整備を行うことができた。 ●令和4年度の長崎県の国体順位には、競技力向上対策の成果が表れていないことから、将来を見据えた取り組みを行う必要がある。 以上を踏まえ、今後の主な取り組みは次のとおりとする。
G3-1	<ul style="list-style-type: none"> ●市民参加型のイベントを開催することにより市民が気軽にスポーツに親しむことのできる機会を引き続き提供するとともに、効果的な情報発信を行うなど、より多くの市民の参加を促す。 ●多くの市民がより身近に快適にスポーツに親しむことができるよう、施設の利用状況や利用者のニーズに応じたスポーツ環境の整備を行う。
G3-2	<ul style="list-style-type: none"> ●スタジアムシティの開業を見据え、両クラブに対する市民の応援機運を高める。 ●競技団体等と連携し、ジュニア選手の強化を行うことにより将来的な高い競技力の実現を目指すとともに、新たにスポーツを始めるきっかけづくりにつながる事業を継続することでスポーツへの関心を高める。

二次評価(施策評価会議による評価)

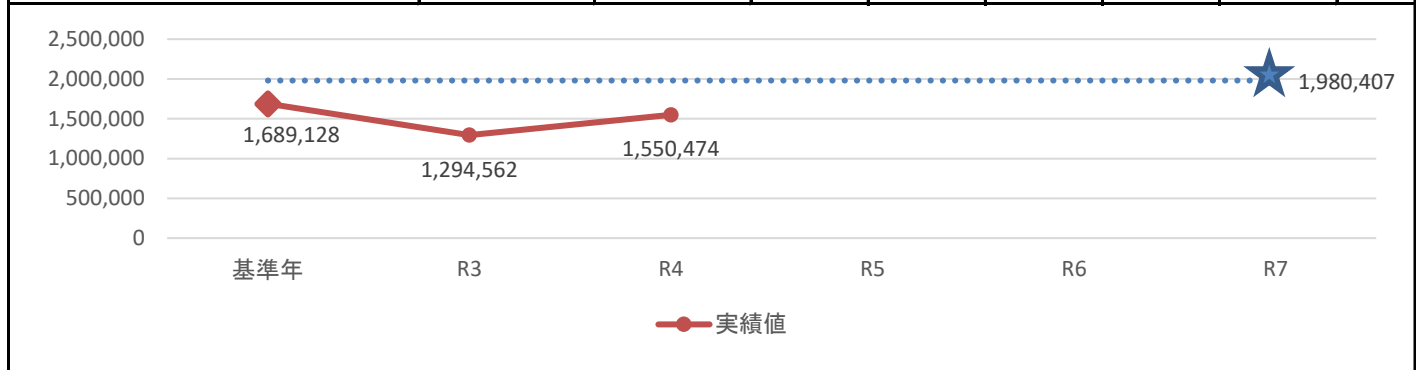
●	基本施策の総合評価の総括において、2点目と3点目の●の記載に関し、成果指標の目標値と比較した実績値に関する増減などの動向しか記載されていないことから、成果指標である定量目標及び定性目標の「めざすべき姿」から現状をしっかりと分析し、順調に進んでいるのか、問題点と要因を踏まえた課題がないのかといった評価を行うこと。
●	G3-1の「成果」「②スポーツ環境の整備」について、市民総合プールのボイラー設備の改修に関しては、施設の利便性の向上ではないことから、利用環境が向上した他の取り組みへ修正すること。また、「基本施策」にも同様趣旨の記載があることから、併せて修正すること。
●	G3-1「今後の取組方針」「②スポーツ環境の整備」に関し、平和公園周辺のスポーツ施設再整備に関する現時点での動向について追記すること。
●	G3-2「今後の取組方針」「①スポーツを通じた地域活性化」において、令和5年6月補正で計上したスタジアムシティ開業に向けた機運醸成の内容や県要望に関する内容などの取組みについて追記すること。

成果指標

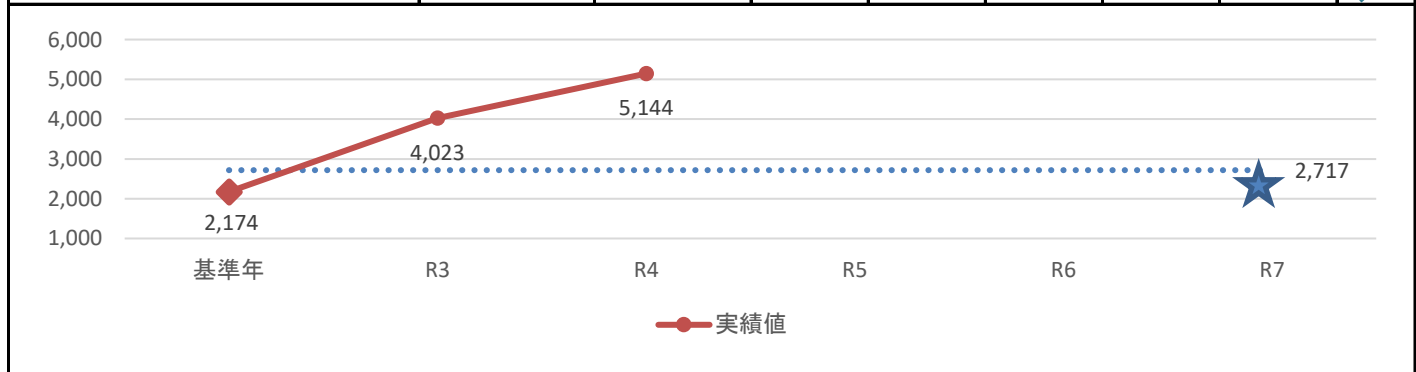
指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
運動・スポーツ実施率	38.5% (R元年度)	65.0% (R7年度)	44.9	42.4	0.0	0.0	0.0	▲



指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
市営スポーツ施設の利用者数	1,689,128人 (R元年度)	1,980,407人 (R7年度)	1,294,562	1,550,474	0	0	0	▲



指標名	基準値 (時期)	目標値	実績値					基準値 からの 傾向
			R3	R4	R5	R6	R7	
市民応援DAYの応募件数	2,174件 (R元年度)	2,717件 (R7年度)	4,023	5,144	0	0	0	▲



年度別 主な取組内容

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベントの開催 (はじめようスポーツ体験教室:1430人など) ・プロスポーツ招待事業(V・ファーレン長崎:3,200人など) ・競技力向上対策費補助金の交付(40競技、4,075,923円) ・ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金の交付(25競技、14,453,067円) ・体育施設の整備(西浦上中学校運動場夜間照明設備改修工事24,619,100円) 			

令和5年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-1	スポーツ・レクリエーションをする場と機会の充実を図ります
2025年度に めざす姿	対 象	意 図
	市民が	日頃から、スポーツやレクリエーションに親しんでいる。
個別施策主管課名	スポーツ振興課	

成果

① 各競技団体等との連携

●市民が気軽にスポーツやレクリエーションに親しめるように、長崎ベイサイドマラソンや、新たに小学生以下の子どもを対象としたスポーツ体験教室等のスポーツイベントを開催し、11,062人の市民の参加があり、各競技団体や長崎市スポーツ協会等と連携した「する」スポーツの振興につながった。

●スポーツやレクリエーションへの関心を高めるため、スポーツ少年団やスポーツ推進委員の活動を支援することで、地域でのスポーツを推進することができ、スポーツを「する」機会の提供につながった。

② スポーツ環境の整備

●西浦上中学校運動場の夜間照明設備のLED化など、施設の改修を行ったことにより、利用者が施設をより快適に利用することができた。また、市営体育施設や学校体育施設の貸し出しを行ったことにより、1,550,474人の市民が体育施設を利用し、スポーツに親しむ環境を提供することができた。

問題点とその要因

① 各競技団体等との連携

●広報紙やホームページで市主催のスポーツイベントを周知しているが、人口減少や新型コロナウイルスの影響により、参加者数は基準値を下回っている。また、スポーツ少年団やスポーツ推進委員についても、少子化や高齢化により団員数及び会員が減少している。

② スポーツ環境の整備

●スポーツ施設については、立地条件や競技人口の違いなどにより利用状況に差があるとともに、老朽化が進む施設などもあることから、より多くの市民が身近で快適に利用できる施設整備を行う必要がある。
また、県事業である高規格道路が平和公園(西地区)のスポーツ施設の上空を通過する計画となっていることから、スポーツ施設の再配置の検討を進めているが、令和4年11月議会で請願がなされるなど再配置先が決まっていない。

今後の取組方針

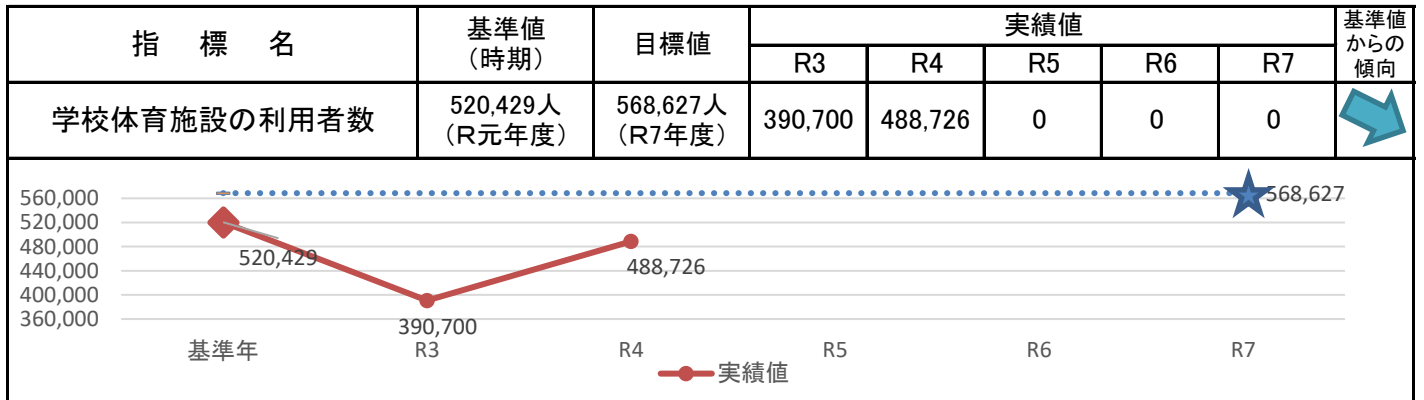
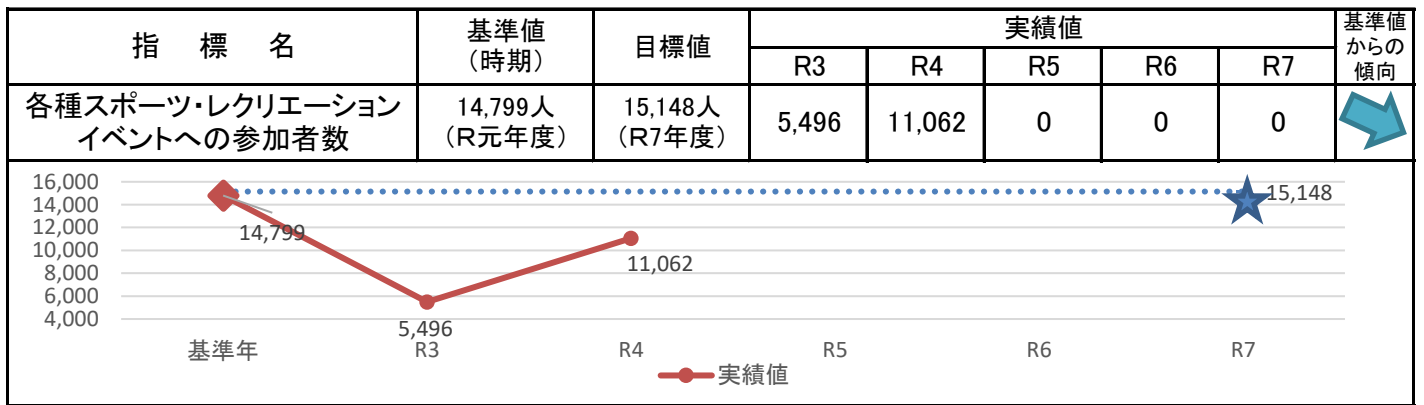
① 各競技団体等との連携

継続 ●市民が気軽にスポーツに親しむことのできるニュースポーツなどの周知や、それを体験できる機会をより多く提供するとともに、スポーツ少年団やスポーツ推進委員の活動を推進することにより、地域での「する」スポーツの振興を図る。また、市民参加のスポーツイベント等の情報提供を効果的に行うなど、より多くの市民の参加を促す。

② スポーツ環境の整備

継続 ●競技団体や競技者、市民などから幅広く意見を聴取するとともに、それぞれの施設の利用状況等の分析を行い、より多くの市民が身近で快適にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ施設の再整備を行う。特に平和公園のスポーツ施設の再配置については、再検討部会を設置し、幅広い関係者の参画のもと、利用者などの視点からの意見を聴きながら、再検討を進める。

成果指標



施策を推進する主な事業

1	事業名 担当課	社会体育行事開催費	スポーツ振興課
	事業目的	スポーツイベントを開催することにより、市民の健康増進とスポーツ人口の底辺拡大を図る。	
	事業概要	市民体育・レクリエーション祭や長崎ベイサイドマラソンなどの各種スポーツイベントを開催することにより、多くの市民に「する機会」を提供する。	
	取組実績	【R4年度参加人数】 ・はじめようスポーツ体験教室 1,430人 ・長崎ベイサイドマラソン 2,890人	・市民体育・レクリエーション祭 5,822人 ・長崎新春駅伝 648人
	決算(見込)額	27,748,236 円	



長崎ベイサイドマラソン



長崎新春駅伝

2	事業名 担当課	【単独】体育施設整備事業費	スポーツ振興課
	事業目的	老朽化が進行している体育施設について、利用者のサービス向上につながるよう整備を行う。	
	事業概要	老朽化が進んでいる長崎商業高等学校テニスコートの照明について、ゼロカーボンシティの実現を踏まえて照明設備のLED化を図るもの。	
	取組実績	【整備状況(R4年度)】 西浦上中学校運動場夜間照明設備改修工事 24,619,100円 (内訳) 投光器架台 7台、投光器 32台、誘虫器 5台、引込開閉器盤 1面、開閉器盤 4面	
	決算(見込)額		24,619,100 円



テニスコート照明設備【現状】



テニスコート照明設備【現状】

令和5年度 個別施策評価シート

個別施策	G3-2	スポーツをみる機会の創出と競技者の支援を図ります
2025年度に めざす姿	対 象	意 図
	市民が	スポーツへの関心を高めるとともに、全国大会等において高い競技力を発揮している。
個別施策主管課名	スポーツ振興課	

成果

① スポーツを通じた地域活性化

●長崎市をホームタウンとするプロスポーツチームであるV・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカに対する市民の応援機運の醸成を図るため、ホームゲームに市内の小中学生とその保護者を抽選により無料招待する「市民応援DAY」を継続して実施することで、3,800人にトップレベルの競技を間近で見る機会を提供することができ、「みる」スポーツへの関心を高めることにつながった。

② 競技者の競技力の向上

●国体に向けた選手・監督の強化及びジュニアスポーツの競技力向上を図るため、市スポーツ協会加盟競技団体が実施する強化練習や遠征試合等の事業を対象とし、41団体に補助金の交付を行った。また、子どもたちにスポーツへの関心を持ってもらうため、新たに小学生以下の子どもを対象にスポーツ体験教室を開催することで、707名の参加があり、各競技の裾野を広げるきっかけづくりにつながった。

問題点とその要因

① スポーツを通じた地域活性化

●新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、サッカー、バスケットボール以外の合宿や試合の誘致ができず、トップレベルの試合を見る機会やトップレベルの選手と交流する機会が十分に提供できていない。

② 競技者の競技力の向上

●令和4年度の長崎県の国体順位は、総合優勝した平成26年の長崎国体以来最低の45位(女子は最下位)となるなど、各競技団体が行う競技力向上対策の成果が表れていない。

今後の取組方針

① スポーツを通じた地域活性化

継続

●スタジアムシティ(令和6年秋)の開業を見据え、V・ファーレン長崎及び長崎ヴェルカのホームゲームへの招待事業を継続して実施し、市民の応援気運の醸成を図ることで、「みる」スポーツを通じた、スポーツへの関心を高めるきっかけをつくる。
また、スタジアムシティのスタジアム・アリーナを活用した地域活性化として、応援機運を高めるための取組みやアウェーサポーター等を呼び込むための取組みを進めるとともに、企業版ふるさと納税の活用により、スタジアムシティ周辺の環境整備や開業気運醸成を図る。

継続

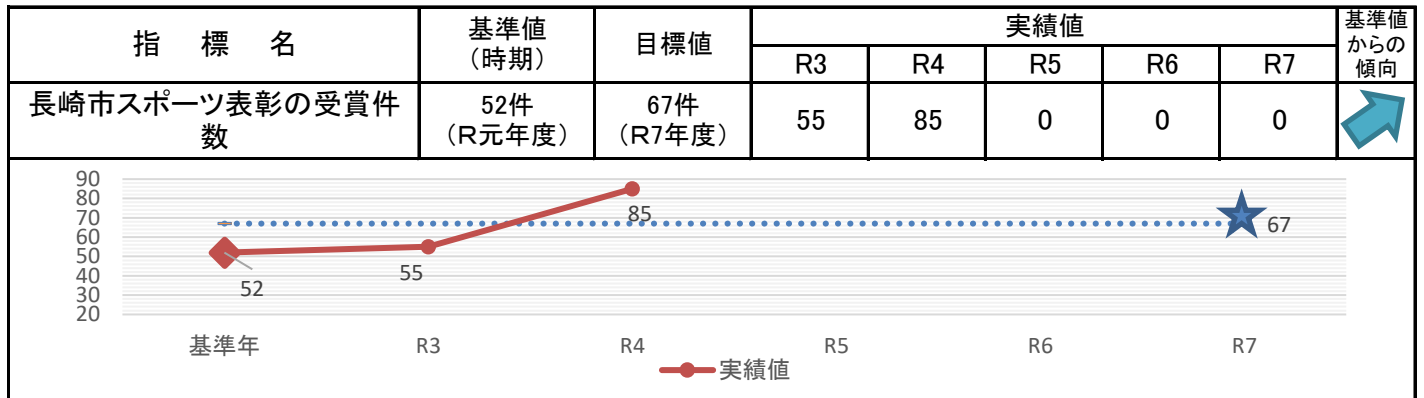
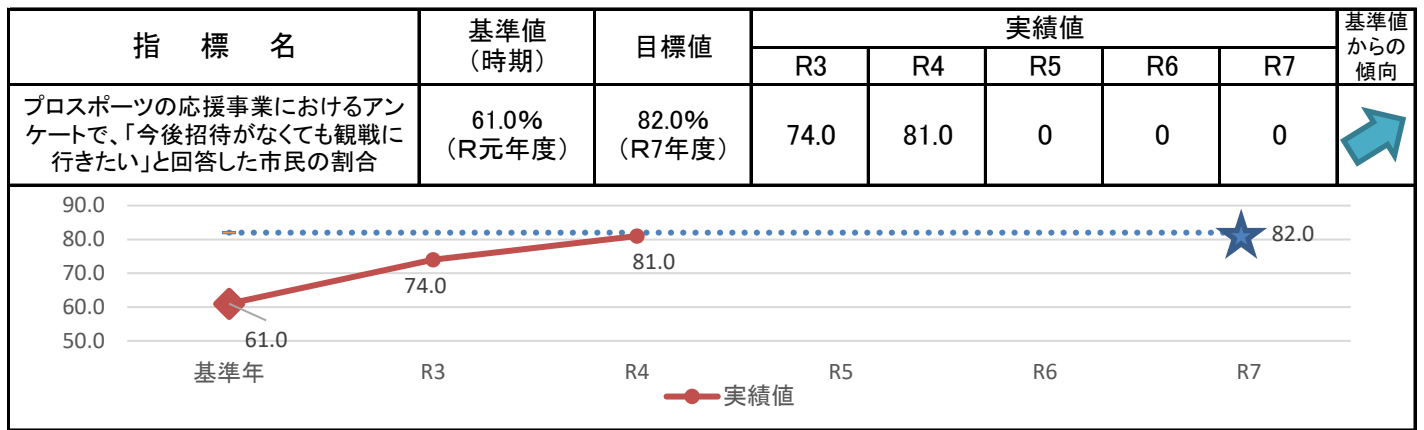
●サッカーやバスケット以外の種目についても、長崎県スポーツコミッション等と連携しトップレベルの大会や合宿の誘致を図る。

② 競技者の競技力の向上

継続

●競技団体等と連携し、ジュニア選手の強化を行うことなどにより将来的な高い競技力の実現を目指すとともに、新たにスポーツを始めるきっかけづくりにつながる、はじめようスポーツ事業を継続することでスポーツへの関心を高める。

成果指標



施策を推進する主な事業

1	事業名 担当課	プロスポーツ応援事業費	スポーツ振興課
	事業目的	市民がプロスポーツに触れる機会を増やすとともに、「みるスポーツ」を通して市民のスポーツへの関心を高め、市民が様々な形でスポーツに関わるきっかけをつくる。	
	事業概要	V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカのホームゲーム及び長崎で開催されるプロ野球公式戦に、小中学生と保護者のペアを招待する。	
	取組実績	【招待者数(R4年度)】 ・V・ファーレン長崎 3,200人、・長崎ヴェルカ 600人、・プロ野球公式戦 800人	
	決算(見込)額		14,568,838 円



V・ファーレン長崎招待事業(イメージ)



長崎ヴェルカ招待事業(イメージ)

2	事業名 担当課	ジュニアスポーツ競技力向上対策費補助金	スポーツ振興課
	事業目的	ジュニア世代の競技力を向上させ、国体、全国高総体、中総体等の全国大会で優秀な成績を収めることを目指す。	
	事業概要	小・中・高校生を対象に、公益財団法人長崎市スポーツ協会加盟の各競技団体が実施する強化合宿及び遠征試合等の事業に対し、補助金を交付する。	
	取組実績	【令和4年度実績】14,453,067円(25競技)	
	決算(見込)額		14,453,067 円